



すくすく



附属小学校
生活部だより第4号
令和5年12月20日

楽しく安全な冬休みを送るために

12月もあっという間に過ぎ、もうすぐ冬休みです。今年は、暖冬で寒暖差の多い日が続いていますが、松山市でもようやく寒さが本格的になってきました。毎朝、毎晩とても寒くなってきましたので、日中のお日さまの暖かさがありがたく感じられます。

さて、一年間で最も長い2学期もあと僅かで終わりを迎えます。新型コロナウイルス感染症が5類となり、2学期は、ほぼコロナ禍前の活動を実施することができました。また、140周年という節目を迎え、過去の伝統を引き継ぎながら、新しい附属小学校の形を築きつつあります。子どもたちの前向きで様々な活動に全力で取り組む姿はとても清々しいものでした。

さあ、冬休みを心待ちにしているお子さんもたくさんいると思います。この時期、元気に過ごしていけるように体調の変化に気を付けていきたいものです。冬休みを楽しく過ごすためにも例年と同様のことではありますが、ご家庭でも以下のことを意識しながら、見届けをお願いいたします。

家族でのふれあいの時間を大切に

冬休みはいつもよりも家族と過ごす時間が多くなると思います。これを一つのチャンス、生活を見直す機会と考え、お子様とじっくり向き合う時間をつくってみてください。今までと違った我が子、あるいは成長した我が子の姿の発見があるかもしれません。

日本の伝統文化を大切に

年末年始には、日本古来から伝わるいろいろなしきたりや慣習があります。「年末大掃除」「年越しそば」「除夜の鐘」「餅入り雑煮」「お年玉」「初詣」「おとそ・御神酒」「鏡餅」「門松」「注連縄(しめなわ)」「おせち料理」……。それぞれのしきたりや慣習について、その意味などをお子様と話したり、実行したりしてみたいかでしょうか。

感染症対策や体調管理を

新型コロナウイルス感染症に限らず、この時期は体調を崩しやすいです。家族で旅行に出かけたり、普段なかなか会えない親戚や知人と再会して過ごしたりすることもあるかと思いますが、楽しい時間を大いに過ごしてほしいですが、意外と子どもは疲れが残りますし、無理をしてしまうものです。また、いつもと違って不規則な生活にもなりがちです。3学期のスタートをよいものにしていくためにも、体調管理には十分配慮していただけたらと思います。また、こまめな手洗いうがいを心掛けて感染症対策を図ってほしいです。

今年度の冬休みは12月23日(土)から1月8日(月)の17日間です。学校から配付している「冬休みのくらしについて」を親子でご確認いただき、安全で楽しい冬休みにしてください。

3学期の始業式で元気な子どもたちと再会できることを楽しみにしています。

(生活部長 玉井 淳博)

持久走大会シーズンを通して思うこと

11月16日(木)、校内持久走大会が行われました。子どもたちは練習してきたことを精一杯発揮していました。持久走は、他の運動に比べて子どもの人気は決して高くありません。「楽しくない」「しんどい」「疲れる」等々、マイナスのイメージを抱かれがちな運動です。でも、こつこつと努力を重ねていくと、確実に力が付

いていく運動でもあります。苦手意識を持っている子どもたちでも、自己ベストを更新すれば「先生！タイム伸びた！」と笑顔で報告してくれますし、その顔は本当にキラキラと輝いています。はじめは嫌だった持久走が、練習を重ねることで、いつの間にか自分を高める運動に変わり、達成感や満足感を得ることができた子どもたちも多いはず。 「がんばった自分は自分のもの。」ここで得た達成感や満足感、自信を次に生かす子どもたちの姿を見るのが楽しみです♪

また、特に素晴らしいと感じたのが応援する態度です。自分のレースが間近に迫っているのに、前のレースの最後の走者が、自分の前を走り抜けるまで全力で応援していました。こんな素敵な子どもたちがいる附属小学校って本当に素晴らしいです。こちらまで温かい気持ちにさせてもらいました。

次の体育的行事は、「なわとび集会」です。なわとびも持久走同様にやった分だけ力が伸びていく素敵な運動です。目の前のことに一生懸命励む、素敵な附属っ子の姿を楽しみにしています。

(体育主任 濱田 圭)



140 (ワン・フォー・オール) でつながって、楽しもう！

集会委員会では、記念すべき140周年をより楽しい一年にしようと、今学期、二つのイベントを開催しました。第1回目は、玉入れ大会！1・6年生、2・5年生、3・4年生でペアになり、玉入れを行いました。玉入れは、何年生になっても白熱するもので、参加した子どもたちは目一杯玉を抱えてびよんびよん跳びはねながら、かごを目がけて玉を投げ入れていました。このイベントは、140秒で各組団合わせて140個入れることを目指して行ったのですが、一番多く入れたペア学年では280個以上入れることができました！第2回目は、ボールコロコロ大会！低学年は7m、中・高学年は14m先のラインを目がけて、ぴったりボールを止めることができるか、みんなで競い合いました。思ったより転がらず「ああ～」と感嘆の声を上げる子どももいれば、指定されたラインぴったり玉を止めて「やったー！！」と声を上げて喜ぶ子ども(先生も)もいて、とても楽しい会になりました。附属小の子どもたちは、イベントを開くと、どの学年もたくさん参加してくれるので、異学年間のつながりが多く生まれ、たくさんの笑顔を見ることができます。

附属っ子のよさでもある「すすんで」を生かして、みんながより「なかよく」なることができ、全力で「やりぬく」かついい姿がたくさん見られることを期待します。そしてこれからも楽しいイベントを開いて、「『楽しい』を自分たちで創る附属小」という伝統をつないでいきたいと思います。

(生活部 河野 幹大)



給食室より

普段、家族がそろって食事をする機会は、どれくらいありますか？仕事や習い事などで、なかなか家族がそろって食事をする機会は少ないのではないのでしょうか。まもなく、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。冬休みは、「クリスマス」「大みそか」「お正月」と楽しい行事が続き、家族や親せきで過ごす時間が増えると思います。ぜひ、家族そろって食事をしながら、一年間を振り返ってみたり、ご家庭の味や地域ならではの料理について話をしたりして、楽しいひとときをお過ごしください。

また、学校が休みだからといって、夜更かしをしたり、朝ねぼうをしたりといったことがないように、「早寝・早起・朝ごはん」を心がけるようにしてください。新学期に、元気な子どもたちと会えることを楽しみにしています。



(栄養教諭 市川 祥子)

相談室より

今年も早いもので、残り僅かとなりました。行事が盛りだくさんの2学期も終わりに近づき、附属っ子の皆さんはホッとする頃でしょうか。一方で保護者の皆様は大変お忙しい時期をお過ごしだと思います。そんな時こそ、ご自身を労っていただけたらと思います。

今月は、ひとつの映画をご紹介します。

『インサイド・ヘッド(2015)』 少女ライリーの頭の中には、ヨロコビ、カナシミ、イカリ、ムカムカ、ビビリという五つの感情が存在しており、その感情たちが主役のお話です。感情たちは頭の中で記憶や体験を管理しているのですが、あることがきっかけで均衡が崩れてしまいます。それをリーダー的存在のヨロコビがどうにかしようとするのですが、うまくいかず、今まで役に立たないと思われていたカナシミの存在を知ることになります。

この物語の大きなテーマは子どもの成長ですが、作品の中で描かれる感情の動きは、私たちの中でも起こっているように思います。つい私たちは、喜びのようなポジティブな感情をよいものとして、悲しみや怒りをよくないものと捉えてしまいがちですが、本来感情に優劣はありません。どんな感情も不可欠であり、自分の心と向き合う大切さを改めて教えてくれる作品だと思います。

(スクールカウンセラー 高橋 寧々)

1月の相談日

10日、18日、25日

2月の相談日

15日、22日、29日

13:00～17:00

予約専用電話：090 - 9451 - 9693

(切 り 取 り)

子どもたちの様子等で、気付かれたことやぜひ紹介したいことがありましたら、学級担任までご提出ください。